

＜タンチョウを観察する際の注意事項＞

タンチョウは警戒心が強く、特に繁殖期は人が近づくと強いストレスを与えるおそれがあり、身の危険を感じたりすると、今後長沼町や舞鶴遊水地に訪れなくなる可能性があります。

同協議会のご意見を踏まえて、引き続き、舞鶴遊水地の一部についての車両、歩行での立ち入りおよびUAVの使用を制限させていただいております。見学されるみなさまは、鳥の駅マオイトーの周辺から優しく見守っていただきますようお願いいたします。

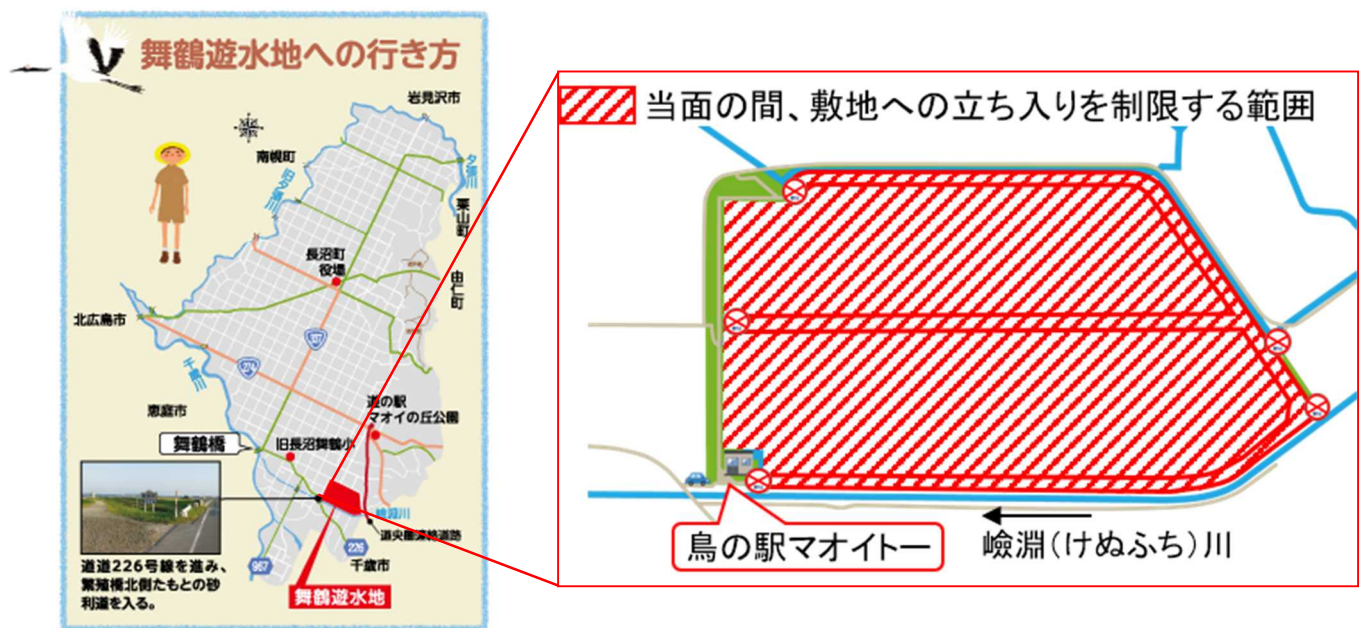
タンチョウを観察するときは、下記のマナーを守ってください。

- ・ 近づき過ぎず、車や建物の中から観察する。
- ・ エサをあげない。
- ・ 農地も含め、私有地に入らない。

見学の際の注意事項をまとめた舞鶴遊水地野鳥観察ガイド(下記URL ご参照)もご活用ください。また、適切な身体的距離の確保、咳エチケットなど、新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力をお願いします。

＜舞鶴遊水地野鳥観察ガイド＞

https://www.hkd.mlit.go.jp/sp/kasen_keikaku/kluh4000001qwn-att/gburoi000000uzef.pdf



※ 専門家のご指導のもと、職員等がタンチョウに配慮しながらの繁殖状況調査や遊水地の維持管理作業のために、当該区域へ立ち入ることがあります。

※ 立ち入り制限は、幼鳥が十分に飛行できるようになるまで継続する予定です。

※ 立ち入り制限の範囲は状況に応じて見直す場合があります。

※ 映像の記録のためにタンチョウの繁殖の様子を撮影されたい場合は、タンチョウの状況等によっては有識者の同行等の下で可能な場合もありますので、長沼町政策推進課にご相談願います。

(長沼町政策推進課企画政策係 電話番号 0123-76-8015)